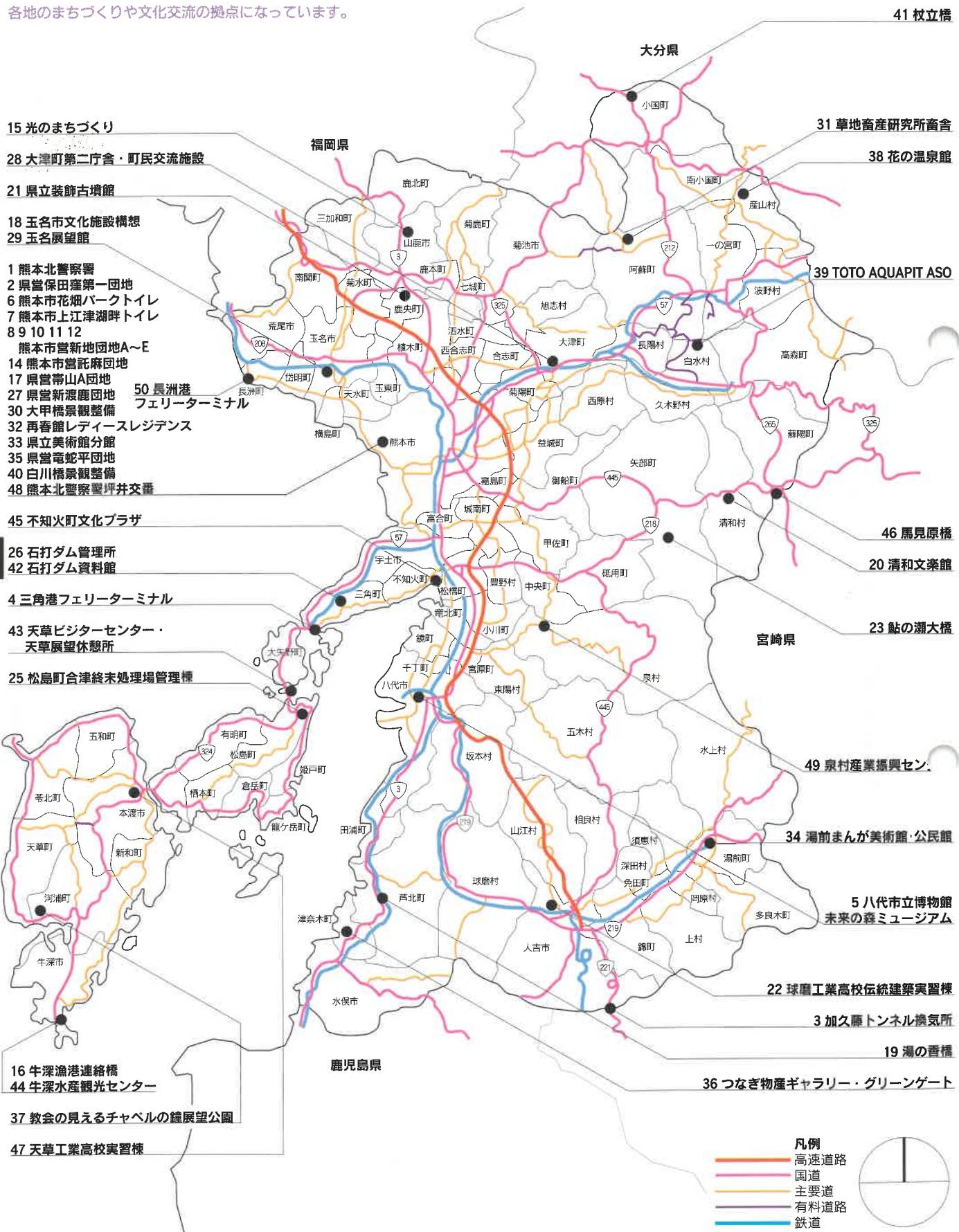


くまもとアートポリス・プロジェクト・マップ

熊本県内各地に建設・計画された
くまもとアートポリスの建築や施設（1995年3月現在）。
現在50のプロジェクトが竣工・進行中、
各地のまちづくりや文化交流の拠点になっています。



清和文楽館を中心に物産館などが建設され、むらおこし、観光の核となってきた

- ルボ：アートポリスとまちづくり 清和村、八代市、津奈木町、産山村
- くまもとアートポリス・デザイン・コンペティション応募案大募集・シンポジウム概要
- シリーズ⑩ くまもとアートポリス参加建築家に聞く — 武田光史

くまもとアートポリスニュース第15号
1995年発行
●発行——くまもとアートポリス事務局
熊本県土木部建築課内 熊本水前寺 6-18-1
tel 096-383-1111 (内線6215)
fax 096-384-9820
●編集——くまもとアートポリスコミッショナー事務局
東京都渋谷区渋谷2-4-7 YK青山ビル
建築・都市ワークショップ内
tel 03-3407-4753 fax 03-3407-8753

K·A·P

アートポリスとまちづくり

建築は『生活創造』エネルギー

このレポートのテーマは＜アートポリスの建築「その後」―まちづくり篇―＞

主役は地域の人々。

アートポリスの建築が完成した後、地域の人々はまちづくりに向けてダイナミックな活動を展開した。

そのまちづくり活動と建築の持つパワーが相乗効果を発揮し、多くの人々を魅きつけている。

アートポリスは、着々と地域活性化のプログラムの中に浸透してきているのだ。

それはまた、熊本県総合計画の理念「ゆたかさ多彩『生活創造』くまもと」を実現する過程でもある。

報告：高瀬隆三郎

ケーススタディ①

清和村

建築のパワーが＜農村文化村＞をつくるきっかけに



まちづくりのきっかけとなった清和文楽館と物産館（手前）

文楽はハードからソフトへ

「なぜ、こんなことが起ったのだろう？」オープンからまだ1年も経たない物産館を見ながら、そんな感慨にとらわれた。とにかく、観光客で一杯なのだ。

村人に伝承されていた文楽を清和文楽館（設計：石井和紘、平成4年4月25日オープン）として蘇らせるまでは、清和村は観光とは無縁だったと思う。それが、現在は他の施設も合わせ、年間10万人の観光客が村を訪れる。人口約3,800人の過疎に悩む山村に、である。

「最初は、村の人たちも心配だったと思います。村人が演じる、それも文楽という古典芸能に興味を持ってくれるだろうか。

しかし、お客さんの反応は本当に予想外でした。若い人たち、特に小学生が、人形の動きって面白いと喜んでくれたんですから」。

清和村にある文楽の里協会の兼瀬哲治・文楽邑支配人は、文楽館オープン当初のことをこう振り返る。

大きな役割を果たしたのは「建築のパワー」である。建築家の石井和紘氏は、村人から文楽の伝承と村づくりへの熱い思いを聞き、その文楽の伝統を和風の木造建築で表現した。施工を担当する県内の日動工務店（大工工事は旭木材工業）も「ラメラ梁」（短い部材を騎馬戦の組み手のように合わせて梁とする）など難しい

技術に果敢に取り組み、見事に竣工させた。その研究熱心さに、設計者も大感激だった。

その2年後の平成6年4月25日、今度は冒頭に紹介した「物産館」が文楽館の隣地に完成した。こちらも石井氏が設計を担当。施工も文楽館同様に日動工務店（大工工事は旭木材工業）である。

この物産館は、長さが54mもある細長い木造建築で、文楽館と庭、背後の小高い山を抱くようにカーブしている。耐力壁を無くした「割簷構造」で、建物の平面は同心円ではなく、円弧を平行移動した平行円の形をしている。外壁はガラス張りだから、道路側から太径の柱と梁のダ

清和文楽館

●データ

設計者 石井和紘
主な用途 文楽劇場、展示館
事業主体 清和村
構造設計 浜宇津構造設計室
設備設計 彦坂満州男（郷設計研究所）
施工 日動工務店
面積 敷地面積／10,200.07㎡
建築面積／856.56㎡
延床面積／781.95㎡
構造 木造
工事期間 1990年12月～1992年3月

清和物産館

●データ

設計者 石井和紘
主な用途 物産館、休憩所、食堂
事業主体 清和村
構造設計 浜宇津構造研究室
設備設計 吉田設備
施工 日動工務店
面積 敷地面積／10,200.07㎡
建築面積／446.04㎡
延床面積／340.02㎡
構造 木造
工事期間 1992年12月～1994年3月



清和物産館の小屋組

ダイナミックな架構が平行に走っているのを見ることができる。その架構は、敷地全体を包み込むように、穏やかな雰囲気を出している。

清和文楽館は、文楽館、物産館に続き、木の吊橋である「翁橋」（設計は熊本市の新興測量）と裏山の上に展望所を平成6年度内に建設し、一段落した。

星降る「高原天文台」

「文楽の里協会」は、文楽邑の文楽館と物産館「四季のふるさと」、それに阿蘇外輪山の南すそ野、井無田高原に建つ「清和高原天文台」の3つの施設を運営している。なぜ「文楽」と「天文台」で文楽の里協会なのか。それは、清和村にあるものを自然体で活用し、地域づくりを展開しているからだ。

清和高原天文台のいきさつを天文台長の宮本幸男氏に聞いた。

「この付近は星がきれいなところですから、よく撮影に来ていました。熊本市立博物館でプラネタリウムを担当していた頃、たまたま撮影してきた写真を机に置いたままにしていたら、熊本日日新聞の記者が見つけ、清和村の星空を新聞に掲載してしまいました。その記事を見て、今度は清和村から兼瀬さんが来られた。

清和の星空を材料に何かできないでしょうか。それで始まったのが九州スターフェスタ「星の降る夜 in 清和」です。星がきれいに見えることは、村人たちにはごく当たり前のことだが、都会からすると財産である。村人にとって何でもないことを、スターフェスタというイベントに代えたら、300人ほどの反響があった。それも回を重ねるうちに、なんと一晩に1,000人も集まる、清和村で一番大きな祭になってしまった。

いつそのこと天文台をという話になり、文楽館ができた翌年（平成5年）4月25日、「清和高原天文台」がオープンした。宮本氏が「宇宙や環境を考える場にする、そして一般公開すること」を前提に同天文台の台長を引き受けた。

ちなみに、建物の設計は熊本市内のロゴス設計同人で、同事務所の有馬博氏と宮本氏は昔からの天文の仲間。だから、この建物には、天体観測に欠かせないノウハウが詰まっている。



観光客で賑わう物産館



清和高原天文台

●データ
 設計者 ロゴス設計個人
 主な用途 天文台
 事業主体 清和村
 構造 鉄筋コンクリート2階建、
 スライディングルーフ付き
 眺望機 50cmニュートン式反射望遠鏡
 面積 総床面積/302.73㎡
 竣工 1993年3月15日

「農村文化村」へ自然体で

現在、文楽館は年間250公演、観劇者は約3万人に達している。これに物産館を訪れる観光客約5万人、天文台を訪れる人約2万人を加えると合計約10万人。予想だになかった数の観光客が訪れるようになった。

演じるものは村に伝承されていた文楽、物産館で出す料理やおみやげ物は家々の倉庫で自給自足的に保存されていた物の加工品、それに村の環境そのものの満天の星。文楽の里協会は、村にあるものに取り組み事業体なのだ。

農村の生活自体は、どんどん都市化されていく。しかし、「農村文化村と言われるような文楽の里にしていきたい」と兼瀬氏は願う。そのためにはもちろん、文楽の後継者などの人材も育てていかなくてはならないし、ソフトも充実させていかなくてはならない。

10万人の観光客が押し寄せると、村の経済にも影響を及ぼす。物産館などで販売する加工品にしても、販売額の増加が、村内の活性化に直結するようになる。なにしろ、村内で売れるものは流通経費が不要で、しかも外から支払われるおカネだから、100%利益が村に残る。それに、村には農産物の多品種少量生産に取り組

んできた長年の実績がある。村内市場が広がることで、農産品の流通が変り、さらなる創意工夫を生んでいく。それは、県の総合計画が掲げる「生活創造」運動そのものだ。アートポリスは見事に「生活創造」エネルギーに点火していった。

清和村・まちづくり見学ツアーガイド

<交通> 車：九州自動車道の松橋インターから国道218号を、御船インターからだと国道445号、218号を通りどちらからも約1時間。

バス：熊本交通センターから熊本バス馬見原行きで約2時間。

<ガイド> 清和文楽館の文楽館での定期公演は第2・第4日曜の午前11時半より（40～60分、1200円）、200席。予約公演は20人以上の団体のみで、希望の日に行う。毎週月曜および年末年始は休館。

清和物産館「四季のふるさと」では旬の野菜や山菜、しいたけやたけのこの好物などを展示即売。手作り料理が楽しめる食堂や加工品体験コーナーもある。文楽館から阿蘇外輪山の南麓野に広がる井無田高原に登ると、清和高原天文台やアウトドアーズキャビン、そこから歩いて10分のところに井無田キャンプ場がある。美しい湖畔でキャンプやハイキングを楽しみながら、夜は満点の星を仰ぎ、天体観測や宇宙の神秘を観測できる。

●清和文楽館・物産館
 上益城郡清和村大字大平原口152
 文楽館 9:00～17:00…月休…入場400円（常設展）
 1200円（講演時）…0967-82-3001
 物産館 9:00～17:00…月休…0967-82-2727



翁橋（手前）と物産館

●清和高原天文台
 熊本県上益城郡清和村大字井無田字一本木…10:00～21:30…月休…入館300円…0967-82-3300

八代市

アートポリスの建築が新しい文化として街に広がる



八代広域行政事務組合消防本部

市民を巻き込みまちづくり運動

アートポリスを機会に、建築家と地域との交流が始まり、その後もいくつかその建築家が設計した建物が実現した例がある。その代表が、八代市と伊東豊雄氏である。

八代市と伊東氏の関係は「建築を文化的な核にしたまちづくりの活性化」というアートポリスの本来の目的を展開する格好の舞台となっている。

同市には、アートポリスに参加した**市立博物館未来の森ミュージアム**を含め、伊東氏の設計による建築がこれまでに官民合わせて4件完成した。市立博物館に続き、民間の小さな展示場「ギャラリー8」、そして市が特命で指名した養護老人ホーム「市立保寿寮」（平成6年3月完成）と「八代広域行政事務組合消防本部」（同7年3月完成）がある。

なぜ、同市は続けて伊東氏に設計依頼したのか。市立博物館の反響の大きさに意を強くしたこともあるだろう。それより「まちづくりのストーリーにひとつの軸をつくるために、同氏に設計委託した」といったほうが適切だろう。異なる地域3カ所に文化的な核を、クサビとなる拠点を築きたかったのだから。

国際建築展「アートポリス'92」では、同市を舞台とした「八代まちなみ展」で市民を巻き込み大いに盛り上がったが、そのエネルギーに呼応するように、地域の

人々も「建築」に真剣に向き合っている。そのひとつの努力が実を結び、市営住宅の「西片町団地建替事業」が建設省が主催する「住宅月間（第6回）」で「良質な住宅建設等の推進」に多大な貢献があったとして建設大臣賞を受賞した。またある。これらの伊東氏設計の建築が一段落したのを機に、熊本県と八代市は、「アートポリスシンポジウムおよび見学ツアー」と「バス停のデザインコンペティション」を同市を中心に実施する。（詳細は本誌12頁を参照下さい。）これらは全て、アートポリスに端を発して同市に巻き起こった事柄であり、現在も

八代広域行政事務組合消防本部

●データ
 設計者 伊東豊雄建築設計事務所
 主な用途 消防署
 事業主体 八代市
 構造設計 木村俊彦構造設計事務所
 設備設計 井上宇市設備研究所、大瀧設備事務所、日栄設計
 施工 大日本土木
 面積 敷地面積/8,390㎡、建築面積/3,329㎡、
 延床面積/5,392㎡
 構造 鉄骨造、一部鉄筋コンクリート造
 竣工 1995年3月

進行中なのである。

消防訓練に子供たちの歓声が…

八代広域行政事務組合消防本部は、九州縦貫道路の八代インターと八代港を直結する同市の新しい幹線道路・臨港線に面しており、その沿線開発の先駆けとなる建築である。「消防署といっても、ほとんどの市民はその実態を知らないではないでしょうか」と伊東氏。最後の仕上げに忙しい広域消防本部の建設現場で、その設計意図を説明してくれた。



建物をピロティで持ち上げ、地上を開放した



消防署の建物へは真下から、階段を上って入る



ギャラリー8

西片町団地ふれあい祭り。団地に隣接する水路に鯉を放流した



消防がわれわれの生活に不可欠なことは誰でも知っている。しかし市民感情として、消防署が近くにあることを必ずしも歓迎していないのではないかと。ましてや、火災から人命を守るために、署員が普段からどんな訓練活動をしているかなど、知る由もない。<その活動内容が一般の人々にわかり、かつ、それに市民が馴染んでこそ公共建築と呼べるのではないかと>という考えが同氏にある。

「建物部分を空中に持ち上げピロティとし、1階部分を公園化することによって、その訓練活動を日常的に見ることが出来るようになります」と伊東氏。

同建物の場合、近くに小学校や幼稚園がある。消防士が中庭にある複数の訓練塔に渡したロープを腹ばいになってついたり、プールに飛び込んだりするトレーニング風景を、芝生の上や見学テラスから、あるいは道路を歩きながらでも見ることが出来る。子供たちはきっとそれを見てカッコ良いと歓声を上げることだろう。そして大人たちにとっても、消防活動の厳しさを知る良い機会となる。

西片町団地

●データ
 主な用途 共同住宅
 事業主体 八代市
 基本設計 八代市建設部建築課、熊本大学工学部建築学科、下野建築設計事務所、大田黒建築設計事務所
 実施設計 下野建築設計事務所
 構造設計 長藤設計事務所
 設備設計 坂井設備設計事務所
 施工 建築：松本建設、豊岡組、サム建設
 面積 敷地面積／4,495.42㎡、建築面積／2,291.30㎡、延床面積／1,410.24㎡
 工事期間 1993年7月20日～1994年3月25日



集会室棟と住棟の間の通路。春には桜が咲く

建物の全体の色調は透明感のあるグレーだ。そのグレーの建築が空中に浮かんだあり様が、実に美しい。市立博物館も素晴らしいが、この建築にも不思議な感動がある。グレーの建築と足元の芝生の緑、それに階段や吹抜け部分の色調との対比が、また一段と風景を際立たせることだろう。

保寿寮

●データ
 設計者 伊東豊雄建築設計事務所
 主な用途 養護老人ホーム
 事業主体 八代市
 構造設計 KSP松本構造設計室
 設備設計 大瀧設備、日永設計
 施工 五洋建設+盛建設+米本工務店
 面積 敷地面積／7,425.0㎡、
 建築面積／1,827.7㎡、
 延床面積／2,487.1㎡
 工事期間 1993年8月～1994年3月



保寿寮の集会室から食堂を見る

西片町団地建替で建設大臣賞

八代市は「市立博物館」「広域消防本部」「保寿寮」という性格も地域も異なる3つの建築を、まちづくりのネットワークの要として位置づけている。「市立博物館」は城址や厚生会館（芦原義信氏設計）と共に同市の歴史的な街なみの核、「広域消防本部」は臨港線という市の新しい動線の核、「市立保寿寮」は日奈久温泉の新しい核である。

保寿寮について、一言だけ説明しておくと、広域消防本部から南へ車で約20分、日奈久という古い温泉町の一角、それも不知火海に面する新しい埋立地にある。昨年3月の完成で、漁港の脇に造成された埋立地で初の建築物であり、これから同地に建設されていく建築群の先駆となるものである。日常生活を介助者なしで過ごせる比較的健康状態の良い高齢者50人（短期利用者6人）が生活している。こうした同市の「核」づくりと並行して、まちづくりを真剣に考える試みも続けられている。そのひとつが、建設省の住宅月間（第6回）で建設大臣賞を受賞した「西片町団地建替事業」である。同団地は熊本型HOPE計画の八代市での適用（同市公営住宅再生マスタープラン）第1号でもある。

この団地は、入居わずか8戸の老朽化した公営住宅団地20戸を、30戸の団地として再生した。それも、地域と密着して生活していた旧住民8戸については優先的な入居権を与え、その希望を聞き戸建て感覚

で設計。新規入居者に対しては、抽選後に複数のプランの中から間取りを選択してもらおう方法をとった。さらに、集会所や周辺道路、用・排水路も住民参加を基本としたことから、旧住民や近隣住民との話し合いが続き、基本計画から工事着手まで長い時間を要した。「それでも、住民の方々が新しい住まいづくりに前向きだったのは幸いでした」と設計を担当した地元の野野健一氏（下野

八代市・まちづくり見学ツアーガイド

<交通>
 鉄道はJR鹿児島本線の八代駅。車では九州自動車道の八代インター。
 <ガイド>
 八代駅や 八代インターから車で10数分、市の中心部に八代城址があり、内に八代宮、周辺に八代城主だった松井家ゆかりの松井神社、その松井家の御茶屋だった松浜軒など歴史的建造物がある。さらに厚生会館、市立博物館などの現代的な建造物も点在している。松浜軒、市立博物館ともに月曜は休館。
 広域消防本部は、市中心部から北東へ車で約5分、八代インターだと国道3号を少し下って右折し、新しい臨港線を約10分。
 日奈久温泉へは国道3号を南へ車で約20～30分。昔ながらの温泉街の風情が楽しめる。保寿寮は、不知火海側の漁港の隣、新しい埋立地の一角にある。

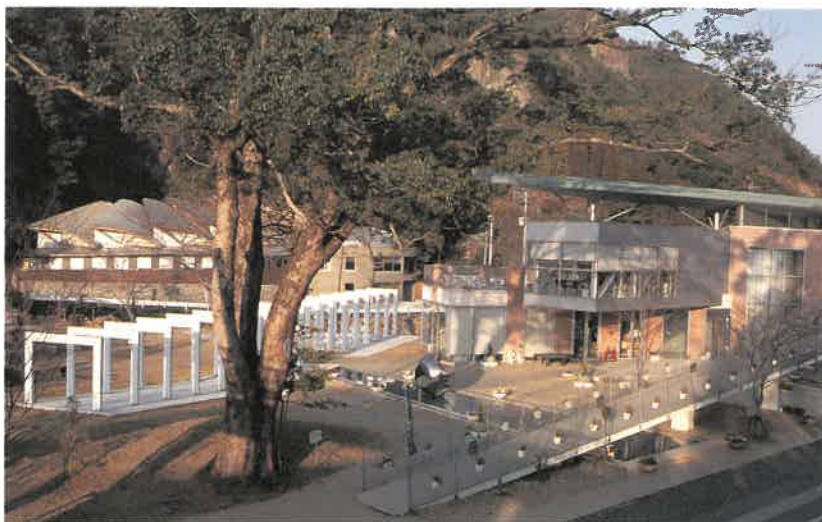
- 八代市立博物館未来の森ミュージアム
 八代市西松江城町12-35 9:00～17:00 月休 入場300円（常設展） 0965-34-5555
- ギャラリー8
 八代市通町7-28 10:00～17:00 水休 0965-32-4509
- 八代広域行政事務組合消防本部
 八代市大村町970
- 保寿寮
 八代市日奈久平成町1
- 西片町団地
 八代市西片町

松浜軒



津奈木町

地道な活動でまちづくりの拠点に



国道3号線から見たつなぎ物産ギャラリー・グリーンゲート、さらに奥には温泉館

相乗効果で特産品の売上増

まちづくり活動の一方の拠点になりつつあるのが、県南の津奈木町・グリーンゲートだ。周辺地域を巻き込んで「特産品まつり」や「郷土料理フェア」などのイベントを開催、特産品開発と人材育成に取り組んでいる。

アートポリス参加事業として平成4年6月、つなぎ物産ギャラリー<グリーンゲート>（設計：北山孝二郎氏）がオープンした。国道3号線沿いという分かりやすい立地条件も幸いして、オープン当初から大好評だった。

続いてその2年後の昨年（平成6年）5月、「つなぎ温泉四季彩」が、小さな川を挟んだ向かい側の隣接地に開館した。住民が投票する方式で指名コンペを行ない、熊本市の佐藤設計が選ばれている。この温泉には、平日で約500人、日曜・祭日になると1000人以上が訪れる。

温泉館のオープンが相乗効果を発揮し、グリーンゲートの売り上げも例年の1.3~1.4倍に増加した。物産品・特産品の売り上げは、グリーンゲートと温泉館で合計約1億円、当初の目標を達成したという。

テーマは人材開発と特産品開発

「私たちのテーマは、人材開発と特産品開発です」と、物産ギャラリー・グリーンゲート所長の浦田伸一氏。

同ギャラリーの企画段階から役場の企画課員として関わり、建物の完成後は、村にとってまったく初めての施設の運営を任されたのだ。設計を巡っては建築家とカンカンガクガク意見を闘わせ、運営に当たっては、特産品の品揃えから所員のお客さんへの対応の仕方まで細かく気を配ってきた。

一見、順調な滑り出しのように見えるの

だが、最初からすべてが順調なわけではないと苦笑いする。グリーンゲートの大きな目標である「特産品開発」にしても、3年がかりで地元が反応し、独自開発の商品を10種類、今年2月の特産品まつりに出品できるまでにやっと漕ぎ着けたという。

「地元の第1次産品を使った商品開発は、民間にはなかなか荷が重い仕事ですから、どうしても公共的な機関が旗振り役をせざるを得ない。今回の特産品開発は、グリーンゲートが音頭を取り実現した初のケース」と同氏は説明する。特産品の開発が軌道に乗ってくれば、第1次産業に従事する人々の収入も増え、若い後継者も町に残れるようになる。

「ひとりでも多くの若者がこの地域に夢を持ち、存分に活躍して欲しいのです」と言葉を続ける。その願いを、地域の若者達はよく知っている。同氏が疲れ果てて弱気になったとき、若者たちからこう言われたそうだ。

「夢を与えてくれる人がひとりでもいないと、私たちはどうしたらいいのです」。その一言がうれしく、また頑張ろうと思ったそうだ。

グリーンゲートでは、ほぼ毎月イベントを開催している。若者達は、その度に行なわれる交流会などを通して、地域外の人々と触れ合い、そして、自分達の生活を知っていく。それが新たな活力となっていく。

「ですから、このグリーンゲートに50人くらい収容できる研修室が欲しかった」と残念がる。地域おこしに取り組む人々のキーステーションのようにになっているだけに、そのニーズに対応しきれていないのが歯がゆいのだろう。

グリーンゲートのある舞鶴城一帯は、つ

なぎ温泉四季彩が完成し、ほぼその整備を終えた。これから、特産品開発と人材育成が本番となっていく。

津奈木町・まちづくり見学ツアーガイド

<交通> 鉄道はJR鹿児島本線の津奈木駅。特急が停車する水俣駅からだと車で約10分、九州自動車道の八代インターからは国道3号を南へ約50分。

<ガイド> 津奈木町は線と彫刻のあるまちづくりでも知られており、彫刻巡りコースもある。グリーンゲートは国道3号に面しており、道の両端に繋る大きな楠と歩道橋が目印。グリーンゲートでは町の特産品を販売、2階の喫茶レストランでは郷土料理が味わえる。鯛飯定食がお勧め。グリーンゲートの横を流れる小さな津奈木川には優雅な眼鏡橋が架かっている。

橋を渡ると津奈木温泉四季彩。町外の人でも入浴できる。後ろの山には舞鶴城公園があり、巨大な岩・重巒岩は信仰の対象にもなっている。津奈木温泉四季彩は山上に展望露天風呂を持っており、そこへは小さなモノレールで上がる。休館日は第1水曜。国道3号を挟んでグリーンゲートの反対側にはつなぎ文化センターがある。

●つなぎ物産ギャラリー・グリーンゲート
 芦北郡津奈木町岩城1601 10:00~18:00 水休 道向かい文化センターに駐車場あり 0966-78-2000

●つなぎ温泉四季彩
 10:00~21:00 第1水休 入浴500円 0966-78-4126



つなぎ物産ギャラリー・グリーンゲート

●データ
 設計者 北山孝二郎（K計画事務所）
 主な用途 物産センター+公園
 事業主体 津奈木町
 構造設計 アスコラル構造研究所
 設備設計 システムデザイン研究所、佐藤設備設計
 施工 高橋建設、坂口建設
 面積 敷地面積/2,358㎡、建築面積/451㎡、延床面積/497㎡
 構造 鉄骨造+一部鉄筋コンクリート造
 竣工 1992年6月

産山村

観光と農業をつなぐ地域開発を



花の温泉館

好評だった「花の温泉館」

ウィークデーの昼下がり、阿蘇の高原をさわやかな風が吹抜けて行く。ワゴン車が駐車場に止まり、近郊のご家族のような老夫婦とその息子夫婦が、幼い子供の手を引きながら楽しげに温泉に向かって行った。農家の方なのだろうか、朝の仕事を終えてちよつとひと風呂、とでもいうような気軽な雰囲気。生活にゆとりとるおいが感じられる。



花の温泉館内部

阿蘇の産山村の「花の温泉館」。平成4年8月に温泉を主にした部分がオープン、その翌年5月にレストランなどを中心とした2期工事が完成、いずれもアートポリスの参加事業だ。設計者は別だが、さらに同5~6年度事業として花を見ながら散歩できるガラスハウスやクッキー工場、水車米工場などが完成。花の温泉館の施設計画は一段落し、いよいよソフトの充実にかかっている。

「ご覧の通り、ガラスハウスの温泉館でしょう。建設計画が進行している当時は、ずいぶん批判されましたよ」と、同村の産業振興課の井道行課長は苦笑いする。ビニールハウスなど見なれた村民には、なんで今さらガラスハウスかという思いもあつたのだろう。

しかし、この建物には衝撃力があつた。外観から想像する以上に、内部は明るい。冬でも太陽の暖かさを感じることができ。おまけに100mの細長い建物だが、明るいから不思議に広がりを感じてしまう。第1期工事の後、猛反対の声に対応する意味からも、井課長らは温泉館を訪れた人達にアンケートを取った。すると、訪れ

た人々にはこの建物は大好評だったのだ。回答者の95%は、「大変良い」か「まあまあ良い」だった。それも「内部」に対する評価の方が高かったようだ。リピーターも増えている。

問題となったのはガラスハウス、いわゆる温室なのだから、夏場の暑さ対策はどうか。特に昨年の夏の猛暑ではどうだったのか。

ところが、ここで活かされたのが地の利。わずか500m先に池山水源があるではないか。そこから水を引き、ポンプアップし、屋根の頂部から流したらどうか。このアイデアは効果絶大で、昨年の猛暑のなかでも32度で、クーラーは使わなかったそうだ。逆に、冬場は温室の中なのだから当然暖かく、暖房がいらない。冷暖房に費用がさほどかからないのが、この建物の特徴となっている。

「今年の入湯客は、10万人を超えます」と井課長。観光客も合わせると、30万人ぐらいが来館しているのではないだろうかと言う。2月の祭日に入湯客が570人というから、やはり驚く。なぜ、山間地の高原に、これだけの人がやって来るよう

花の温泉館

●データ

設計者 ワークショップ
 主な用途 温泉センター、レストハウス
 事業主体 産山村
 構造設計 構造計画プラスワン
 設備設計 彦坂満州男（郷設計事務所）
 施工 佐藤工務店
 面積 敷地面積/11,523㎡、建築面積/1,722㎡、延床面積1,739㎡
 構造 鉄骨造、鉄筋コンクリート造
 工事期間 1991年11月～1993年11月



阿蘇の山なみと調和する温泉館。第3セクターによって運営されている

になったのだろう。

それはやはり、産山村には阿蘇の草原や池山水源などがあり、その豊かな自然を人々が求めているからであり、花の温泉館も村全体のイメージアップに大きく貢献したことは確かだ。

第三セクターも順調な滑りだし

山村が過疎化、高齢化していくなかで、この施設は大きな集客力を発揮し、村の農産物がよく売れるようになった。その意味で、大きな影響力を発揮した。しかし、「こうした事業を公共機関がやり続けるのは良くない。第三セクターで行なおうというのが、当初からのプランでした」と同課長。平成6年4月、第三セクター「(有)うぶやま」が誕生、温泉館、日本名水百選のひとつ「池山水源」の水工場、ヒゴタイ公園キャンプ村、御湯船温泉館の4施設を運営するようになった。この第三セクターは当初の予想通り売り上げも順調で、村からの助成なしで充分にやっ

ていけるそうだ。「山村は、高齢者しかいなくなりつつあります。それを防ぐためには、農林業に人が残るような仕組みを考え出さなければならぬ。それには豊かな自然を観光資源にしながら、農業と結び付けた基礎的

な部分を開拓していくことです」(同課長)。

同村でも、ほとんどが第一産業。どうしても若者は、土地を離れて行く。しかし、観光客が年間30万人も詰めかけると、地域の産業構造にも変化が出てくる。例えば、池山水源や花の温泉館の側で、即席の野菜販売所を開けば、結構な現金収入になる。それが地元産品を使った特産品の開発につながり、観光客に喜ばれるようになってくると、村の収入も増え、第一産業の後継者も少しずつ村に残れるようになってくる。そうしたサイクルをつくりだしていくことが大切だ。

観光と第一産業を結びつけるため、同村ではさらにいくつかの計画を進めている。今年8月(予定)には「観光牧場」がオープン、平成8年には「クライン・ガルデン(市民農園)」に着工、完成させる。前者は、花の温泉館とはまた趣の異なる建物となるそうだ。後者は、5haの土地にオートキャンプ場やロッジ風建物、貸農園、果樹園、地鳥レストラン等を計画、現在、基本設計が終了したところだ。池山水源やヒゴタイ公園、民宿等で親しまれてきた産山村は、アートポリスに参加した「花の温泉館」で新たな局面を切

り開いた。そしていま、いよいよ本格的に観光を起爆材にした農業振興へと乗り出したのだ。

産山村まちづくり見学ツアーガイド

<交通> 鉄道はJR豊肥線の宮地駅から車で約30分、熊本市内からだと車で国道57号、ミルクロード、やまなみハイウェイなどを利用し約1時間半。

<ガイド> 阿蘇の原風景と呼ばれるほど、自然に恵まれている。花の温泉館には野の花が咲き、露天風呂やハーブ湯、サウナも楽しめる。風呂の反対側にあるステーキハウス「せせらぎ」では、大草原を走り回った赤牛の特選肉を味わえる。休館日は第1・3・5火曜日。

500m先にある池山水源は、うっそうとした樹木に囲われており、毎分30トンもの水が湧き出る。環境庁指定の名水百選に選ばれている。熊本のおいしい水の代表で、毎日たくさんの方が訪れる。このほか、民宿や久住山荘・やまなみ高原に広がるヒゴタイ公園キャンプ村などが有名。

●花の温泉館
 熊本県阿蘇郡産山村大字田尻字下釜蓋 1000～2100
 第1・3・5火休(祝日の場合は翌日) 入浴500円
 0967-25-2341

池山水源



●シリーズ……10 くまもとアートポリス参加建築家に聞く

泉村ふれあいビジターセンター：武田光史氏

茶畑の上に浮かぶ木造建築



造成中の現場で打合わせる武田氏(中央)とロゴス設計同人の丹井田権氏(右から二人目)

●建物外周は杉板のストライプ

敷地は、ずいぶん印象的です。

熊本市側から来ると、敷地は唐突に見えてきますが、八代市側からは、ゆるやかな登り勾配の坂道の上空に、切り取った台地の上に見えてきます。なにしろ、村面積の94%が山地で、平らなところがほとんどないという土地柄ですからね。

土地の形状に沿って建物を配置しようとすると、どうしてもレベル差が生じてしまい、身障者や高齢者の方が利用するには、エスカレータなどの機械設備を設置するほかなくなります。

中途半端に自然を残し、敷地内にレベル差を生じさせるより、いつそのこと山を切り、自然と向き合う積極的な意志を表明しようと考えました。今回のビジターセンターの敷地は住宅用地と共存することが条件となっていますが、人工的な盆地とすることによって、駐車場が住宅地との緩衝帯として位置づけられ、ゆったりした広場空間を共有することにもつながりました。

●建物はどんなイメージですか。

「お茶畑の上に浮かぶ木造建築」というイメージです。石垣の上にお茶畑という景観は、泉村で最も印象的な風景です。同



模型。外周道路ぞいに木造の建物が浮いている

山懐に抱かれた八代郡泉村は秘境と平家落人伝説の五家荘で知られ、県内外から25万人の観光客が訪れる。

林業に替わって現在では、お茶と観光で知られる村だ。

アートポリス参加事業の「泉村ふれあいビジターセンター(仮称)」は、同村の玄関とも言える場所に建ち、観光を中心に村民の憩いの場を提供する。

武田光史建築デザイン事務所と地元熊本のロゴス設計同人の共同設計で作業が進められている。

センターでも、敷地の外周に上下3段にお茶畑をつくり、その上に木造建築が浮かんでいるという形にしました。建物は、対外的な顔となる物産・レストラン棟と、村の福利厚生施設的な役割を果たす会議室棟の2棟に機能分化しています。敷地がT字道路に面していることから、物産・レストラン棟は外周道路の形状に合わせてL字型に配置し、その奥に会議室棟を設けました。形態的には、来訪者のための物産・レストラン棟は開放的、福利厚生施設の会議室棟は逆に塊状で閉じる形です。

●建物外周にストライプが巡っていますね。

外周のストライプは、泉村産の杉板をすのこ状に張ったものです。西日をカットするとともに、八代市側から建物を見上げながらアプローチしてきたとき、地形に平行なラインを強調することによって、建物が浮かんでいる印象をより鮮明にしたかったわけです。

●産業の発信基地に

施設にはどんなものが入るのですか。

物産・レストラン棟は来訪客のための施設ですから、観光インフォメーションコーナーや特産品販売所、レストランなどです。会議室棟は村人の福利厚生施設ですから、事務所や会議室、娯楽室などを備えています。建物は物産・レストラン棟が平屋建てです。主体構造は木造ですが、一部の柱・梁に鉄筋コンクリート造を用い、混合構造となっています。会議室棟は木造2階建てで在来構法です。

物産・レストラン棟は、勾配のある屋根と足元が開放的な内部プランが特徴です。木材は県産の杉材で、製材所で加工できるものと考えています。構造材は、120mm×240mmをふたつ合わせ240mm角の合わせ材とし、柱や梁をつくる予定です。折り曲っている木造の屋根梁は、柱どうしの間隔が長いことから集成材を使いますが、集成材は天井裏などに隠すつもりです。

●広場が特徴的です。

住宅地との緩衝帯として駐車場があり、そこから広場に入るという構成です。広場は5%のゆるやかな勾配の北斜面になっています。市場やさまざまなイベントがどこでも可能で、その広場を観客席としても利用でき、さらに会議室棟の大会議室などとも連続するよう、多様な空間をつくりだす装置として考えています。

●最後に、この建物にどんなメッセージを託したいですか。

この建物の最大の役割は、泉村を訪れる人々の触れあいの場というだけでなく、将来に向けて、村の産業の発信基地になることだと思います。幸い、村には基幹産業となれそうなお茶と観光があります。このお茶をテーマとした健康産業を育成することによって、それが結果として観光の発展に結び付けば理想的です。私としては、もし許されるならば、泉村に外部から人材を連れてきて、村に刺激を与え、村の活性化にお手伝いすることが出来たらと思っています。(談)

八代市のバス停

デザイン・コンペティション概要

課題

八代市中心市街地に建つ公園施設としてのバス停

熊本県は、くまもとアートポリスの作品が単なる点的な存在としてではなく、様々な波及効果をもたらし、ソフト・ハード両面において大きな広がりを生んでいる八代市と共催で、「バス停」のデザインコンペティションを実施します。バス停という重要な景観要素の新しいデザインを実現することで、まちなみ景観に対する関心を高めるとともに、若手建築家にもアートポリスの活動にどしどし参加していただくのが狙いです。

主催

熊本県、八代市

応募資格

不問。

質疑

質疑は行ないません。

賞金

最優秀賞1点/100万円

優秀賞3点/各30万円

佳作6点/各10万円

審査委員

伊東豊雄(委員長)、坂本一成、元倉真琴

審査方法

3段階方式。1次審査で30~50点程度選択。

表彰式前日に2次審査で10点に絞り、表彰式当日に公開審査で各賞を確定。

公開審査

1995年8月25日(金) 10:00~

会場: 八代厚生会館大ホール

表彰式

1995年8月25日(金) 13:30~

会場: 八代厚生会館大ホール

機能要件

建設場所は八代市松江城町の八代城址南側市道に隣接する公園です。

上下線2カ所のバス停を設計してください。

工事予算は2カ所で800万円以内。1996年10月の完成を予定。

提出用紙

ケント紙あるいはそれに類する厚紙1枚(600mm×840mmの横使い/厳守)

要求内容

平面図と立面図、透視図または模型写真等。

提出方法

提出期限までに郵便、または宅配便(当日必着)で送付してください。持参は不可。

応募要項の請求

必ず返信用の90円切手を同封し、応募要項の請求を行なってください。

提出先・問合せ先

熊本県土木部建築課 アートポリス事務局

〒862-70 熊本市水前寺6丁目18-1

Tel:096-383-1111内線6215、Fax:096-384-9820

締切

1995年7月7日(金) 17:00 必着のこと



「バス停」コンペの敷地予定地。噴水の向こう側と道路反対側の上下2線のバス停が対象。



右に見えるのが現在のバス停。敷地周辺には、八代城跡や松井神社など史跡も多い。

インフォメーション

くまもとアートポリスにまつわるエピソード、プロジェクト周辺の話題などを本誌上で取り上げていきます。読者の皆様のご寄稿をお待ちしています。

くまもとアートポリスに関するご意見、ご感想もお寄せ下さい。

●くまもとアートポリス事務局：熊本県土木部建築課内 熊本市水前寺 6-18-1
tel: 096-383-1111 (内線6215) fax: 096-384-9820

くまもとアートポリスシンポジウム1995

熊本県内各地で開催するくまもとアートポリスシンポジウム。1995年は八代市。まちづくりをテーマに建築、まちなみ、デザインを議論していきます。また、関連のイベントとして展覧会、ツアーを開催します。皆さんふるってご参加を。

日時

平成7年8月25日(金)13:30~16:30

会場

八代厚生会館大ホール

テーマ

建築がまちづくりに果たすべき役割(仮題)

基調講演

伊東豊雄「公共建築への提案」

鼎談

伊東豊雄、坂本一成、元倉真琴

同時開催

アートポリス展

会期

8月22日(火)~27日(日)

会場

八代市立博物館企画展示室

内容

くまもとアートポリス参加作品等を模型、パネル等で展示。

レセプション

シンポジウム当日、地元団体主催。

見学ツアー

JTB熊本支店主催による2泊3日のアートポリス見学ツアーを開催(8月24日~26日)。6月から募集予定。

問合せ先

くまもとアートポリス事務局
Tel: 096-383-1111 (内線6215)、
Fax: 096-384-9820

アートポリスを考える会設立記念シンポジウム

アートポリスを考える会が設立記念のシンポジウムを開く。積極的なまちづくりの試みを行っている岡山県、長崎県、宮城県白石市などの地域で重要な役割を担う建築家2氏と、アートポリスコミッショナー事務局の八束はじめ氏を招き、各地域のまちづくりを比較することで、アートポリスの今後について積極的に考えるきっかけとする。

主催

アートポリスを考える会。

日時

平成7年5月29日(月)18:00~20:30

会場

メルパルク熊本(熊本市水道町15-11、Tel:096-355-6311)

定員

580人(先着順・入場無料)

テーマ

自分たちで考える地方都市の未来(仮題)

鼎談

岡田新一(クリエイティブTOWN岡山コミッショナー)、堀池秀人(長崎県都市プロジェクト顧問、宮城県白石市都市プロデューサー)、八束はじめ(くまもとアートポリスコミッショナー事務局)

問合せ先

アートポリスを考える会事務局
Tel: 096-385-8655

竜蛇平団地が日本建築学会賞受賞

熊本市宮新地団地A、熊本県草花畜産研究所に続いての受賞です。



県営竜蛇平団地

●データ

設計	元倉真琴
主な用途	共同住宅
事業主体	熊本県
構造設計	SIGLO建築構造事務所
設備設計	松田勉(熊本設備設計事務所)
施工	中瀬組、水上建設
面積	敷地面積/8,498㎡、建築面積/2,495㎡、 延床面積/6,511㎡
構造	鉄筋コンクリート造
工事期間	1991年10月~1994年2月

熊本北警察署坪井交番が竣工

3月24日、熊本市坪井町の交差点に新しい交番が竣工しました。坪井町の新しいランドマークとなることが期待されます。



熊本北警察署坪井交番

●データ

設計	マニエル・タルディッツ+加茂紀和子
主な用途	交番
事業主体	熊本県警察本部
構造設計	五十嵐純一(影象社)
設備設計	木村設備設計事務所
施工	野中工務店
面積	敷地面積/647.4㎡、建築面積/189㎡、 延床面積/192㎡
構造	鉄筋コンクリート造、鉄骨造
工事期間	1994年10月~1995年3月

くまもとアートポリス・プロジェクトガイド

くまもとアートポリスのこれまでに竣工・完了したプロジェクト、そして現在進行中のプロジェクトを一堂に集めました。竣工プロジェクトには、これから作品を見に行かれる方のために住所などのデータを掲載しました。巻末の地図と併せてご利用ください。

- 1 熊本北警察署**
篠原一男+太宏設計事務所...警察署...9010
熊本市草葉町5-13...熊本交通センターからバス「白川公園前」下車...内部見学、写真撮影は要許可、バス駐車不可...熊本北警察署警務課 096-323-0110
- 2 県営保田産第一団地**
山本理顕...集合住宅...9112
熊本市榑山1-28...熊本交通センターからバス「上保田産」下車...外観のみ見学可、駐車不可、中庭は入れません
- 3 加久藤トンネル換気所**
小山明+パシフィックコンサルタンツ...トンネル換気施設...8908
熊本県人吉市大畑町、宮崎県えびの市東川北...国道221号線加久藤トンネル脇...外観のみ見学可
- 4 三角港フェリーターミナル**
翼祥栄...旅客待合所...9003
三角町大字三角浦...JR三角駅前...7:30~19:30
- 5 八代市立博物館未来の森ミュージアム**
伊東豊雄...博物館...9110
八代市西松江城町12-35...JR八代駅からバス「法務局・博物館前」下車...9:00~17:00...月休...入場300円(常設展)...0965-34-5555
- 6 熊本市花畑パークトイレ**
大塚豊一...公衆トイレ...8910
熊本市花畑6...熊本交通センター前、花畑公園内...近隣に駐車場あり
- 7 熊本市上江津湖畔トイレ**
日田光一...公衆トイレ...8905
熊本市神水本町16-11...JR熊本駅から市電「八丁馬場」下車
- 8 熊本市宮新地団地A**
早川邦彦...集合住宅...9107
熊本市清水町新地...熊本交通センターから新地団地行きバス「新地団地」下車...外観のみ見学可、駐車不可
- 9 熊本市宮新地団地B**
緒方理一郎...集合住宅...9203
熊本市清水町新地...熊本交通センターから新地団地行きバス「新地団地」下車...外観のみ見学可、駐車不可
- 10 熊本市宮新地団地C**
富永謙...集合住宅...9311
熊本市清水町新地...熊本交通センターから新地団地行きバス「新地団地」下車...外観のみ見学可、駐車不可
- 11 熊本市宮新地団地D**
西岡弘...集合住宅...一部竣工
熊本市清水町新地...熊本交通センターから新地団地行きバス「新地団地」下車...外観のみ見学可、駐車不可
- 12 熊本市宮新地団地E**
上田憲二郎...集合住宅...一部竣工
熊本市清水町新地...熊本交通センターから新地団地行きバス「新地団地」下車...外観のみ見学可、駐車不可

- 13 県道橋景観整備(基礎調査)**
倉俣史朗+高木富士川計画事務所...完了
- 14 熊本市託麻団地**
坂本一成+長谷川逸子+松永安光...集合住宅...9404
熊本市新南都町33...熊本交通センターからバス「託麻団地入口」下車...外観のみ見学可、駐車不可
- 15 光のまちづくり(まちづくり構想)**
岩崎敏+瀬口英徳...構想完了
山鹿市
- 16 牛深漁港連絡橋(工事中)**
レンゾ・ピアノ+ピーター・ライス+岡部憲明+マエダ...臨港道路
牛深市
- 17 県営榑山A団地(公開コンペ)**
新納至門...集合住宅...9203
熊本市榑山1-23...熊本交通センターからバス「上保田産」下車...外観のみ見学可、駐車不可
- 18 玉名市文化施設構想**
豊田文生...構想完了
玉名市
- 19 湯の香橋**
岸和郎...遊歩橋...9105
芦北郡芦北町湯浦...JR湯浦駅からバス「湯浦橋」下車...夜間照明19:00~22:00
- 20 清和文楽館**
石井和雄...文楽劇場+展示館...9203
上益城郡清和村大字大平原口152...熊本交通センターから馬見原行きバス「清和文楽村」下車...9:00~17:00...月休...入場400円(常設展)1200円(公演時)...定期公演:2・4日曜...0967-82-3001
- 21 県立装飾古墳館**
安藤忠雄...歴史資料館...9203
鹿本郡鹿本町岩原3085...山鹿産交バスターミナルから車...9:30~17:00...月休...入場400円...0968-36-2151
- 22 球磨工業高校伝統建築実習棟**
象設計集団...工業高校実習棟...9103
人吉市城本町800...JR人吉駅から徒歩...見学・写真撮影は要許可...0966-22-4189
- 23 鮎の瀬大橋(工事中)**
大野美代子+中央技術コンサルタンツ...橋梁
上益城郡矢野町
- 24 公園ファニチャーデザイン、同整備マニュアル(構想)**
沖健次+東京ランドスケープ研究所...完了

- 25 松島町合津終末処理場管理棟**
斎藤宏...管理棟...9303
天草郡松島町大字合津4276-387...JR三角駅から松島行きバス「松島バスターミナル」下車...見学・写真撮影要許可...1969-56-3195
- 26 石打ダム管理所**
青木茂...ダム管理事務所...9102
宇土郡三角町中村...JR石内ダム駅から徒歩1.5km...外観のみ見学可
- 27 県営新渡団地**
小宮山明...集合住宅...9303
熊本市渡鹿3-854-1...熊本交通センターから戸島(一本木)行きバス「渡鹿7丁目」下車...外観のみ見学可、駐車不可
- 28 大津町第二庁舎・県民交流施設(構想)**
鈴木了二...設計完了
大津町
- 29 玉名天望館**
高崎正治...展望・学習コミュニティ室...9209
玉名市大倉字桃田1144...熊本交通センターから玉名、荒尾行きバス「玉名大橋口」下車...玉名市都市計画課 0968-75-1122
- 30 大甲橋景観整備(構想)**
倉俣史朗...橋梁...設計完了
- 31 草地畜産研究所畜舎**
トム・ヘネガン+インガ・ダグフィンストッター+桜樹会、古川建築事務所...畜産研究施設畜舎...9209
阿蘇郡阿蘇町大字西湯浦...JR阿蘇駅より車...外観のみ見学可
- 32 再春館レディースレジデンス**
妹島和世・女子社員寮...9108
熊本氏帯山4-323-1...熊本交通センターからバス「保田産本町」下車...外観のみ見学可...再春館製菓所総務課 096-384-5555
- 33 県立美術館分館**
エリアス・トーレス+ホセ・A・M・ラベニア+大和設計...美術館...9210
熊本市千葉町2-2...9:30~18:30(土・日など17:00まで)...熊本交通センターから徒歩10分...月休...駐車不可...096-351-8411
- 34 湯前まんが美術館・公民館**
桂英昭+AR...美術館+公民館...9211
球磨郡湯前町字上牧原1834-1...くま川鉄道湯前駅から徒歩...9:00~17:00...月休...入場料:300円(大)100円(小中)...0966-43-2050
- 35 県営竜蛇平団地**
元倉真琴...集合住宅...9402
熊本市帯山3-1...熊本交通センターからバス「東水前寺」下車...外観のみ見学可、駐車不可
- 36 つなぎ物産ギャラリー・グリーンゲート**
北山孝二郎...物産センター+公園...9206
芦北郡津奈水町岩城1601...JR津奈水駅よりバス「竹中」下車...10:00~18:00...水休...道向かい文化センターに駐車場あり...0966-78-2000
- 37 教会の見えるチャペルの鐘展望公園**
梅田正徳+スペースデザイン...公園...9303
天草郡河浦町崎津...本渡バスセンターから牛深行きバス「一町田中央」下車、富岡行きに乗り換え「教会入口」下車...河浦町場企画調整室 09697-6-1111

- 38 花の温泉館**
ワークシヨップ...温泉センター+温室...9312
阿蘇郡産山村大字田尻字下釜蓋...JR宮地駅から車...10:00~21:00...第1・3・5火休...入浴500円...0967-25-2341
- 39 TOTO AQUAPIT ASO(公衆トイレ)**
木島安史...公衆トイレ...9203
阿蘇郡白水村山上広場...阿蘇山ロープウェイ阿蘇山西駅前
- 40 白川橋景観整備**
藤江和子...橋梁...9211
熊本市二本木...JR熊本駅より徒歩
- 41 杖立橋(工事中)**
新井清一...歩道橋+公共広場
阿蘇郡小国町
- 42 石打ダム資料館**
入江健一...資料館...9304
宇土郡三角町中村字八久保...JR石内ダム駅から徒歩1.5km...9:00~17:00...月休...0964-54-1191
- 43 天草ビジターセンター・天草展望休憩所**
古谷誠章+中川建築設計事務所...博物館展示施設・休憩所...9407
天草郡松島町永浦島...熊本交通センターから産交バス本渡行き快速で約100分「橋合入口」下車徒歩100m
- 44 牛深水産観光センター(工事中)**
内藤廣...物産販売・展示・待合室・レストラン・視聴覚室など
牛深市牛深町
- 45 不知火町文化プラザ(設計中)**
北川原温+伊藤建築事務所...図書館・美術館・温水プール・広場
宇土郡不知火町
- 46 馬見原橋(工事中)**
青木淳+中央技術コンサルタンツ...橋梁
阿蘇郡蘇陽町
- 47 天草工業高校実習棟(工事中)**
室伏次郎+SDA建築設計事務所...工業高校実習棟・体育館
本渡市
- 48 熊本北警察署坪井交番**
マニエル・タルディッツ+加茂紀和子...交番...9503
熊本市坪井町
- 49 泉村産業振興センター(設計中)**
武田光史+ロゴス設計同人...物産館・視聴覚センター
泉村
- 50 長洲港フェリーターミナル(設計中)**
石田敏明...フェリーターミナル
有明海自動車航送船組合

凡例
番号 プロジェクト名
設計者・主な用途・竣工年月
住所・行き方・開館時間、休日、入場料など・連絡先

※なお、見学の際は、建物所有者、居住者および周辺の居住者に迷惑のかからないよう十分注意してください